

2021 年度 マンスリーレポート No. 77

8月2日、第5学年の総合試験 CBT-B が行われ、COVID-19 感染者と接触があった6人(PCRは陰性)は自宅待機で受験できず、追試験となった。福岡県のまん延防止等重点措置の適用が始まり(8/2~8/31)、教職員に感染防止対策の徹底と対応が通知された。卒業試験における受験制限や追試験を避けるため、試験前の濃厚接触回避の指導、入室前の問診や検温と有症状者別室受験の許可、全員検査の不実施を安達が石竹学生委員長に提案した。山田が PCCE の臨床技能訓練(トレセン)について大学病院看護部(部長や師長)と協議した。大学卒の新型コロナのワクチン接種(御井学舎)で医学生 of 2 回目接種が終了した。

8月3日、山田が京都大学「現場で働く指導医のための医学教育学プログラム:基礎編」の「Leadership & Management」プログラムの打合せに参加した(Zoom 会議)。

8月4日、柏木が情報システム室・教務課と問題プールシステム(K-CAMELLIA)の OS 更新と映像配信システムのアップグレードに関する打合せを行った。柏木が DX 人材育成のための IT 講習会「IT で実践を学ぶ」を行い、原講師と教務職員(猿渡/田中/長田/秋山)が受講した(全15回の予定、4回は8月中に実施)。

8月6日、臨床研修医選考試験の面接(対面)が行われ、安達が面接官として参加した。共用試験 CBT 説明会が開催され、柏木(サイトマネージャー)と安達(監督者)が参加した。経営企画室の DX 勉強会「パンデミック時代にあるべき AI/ICT を活用した次世代医療・ヘルスケアを実現するために」が Zoom 配信され、柏木と山田が参加した。山田が京都大学「現場で働く指導医のための医学教育学プログラム:基礎編」の選択授業「シネメデュケーション番外編:シネマナイトの体験からナラティブの語りへ」に参加した。

8月11日、教務委員会の学修対策部会が国家試験対策として卒業生や予備校と作成した「3年~6年の学習スケジュールモデル」を教員に配布した。山田がオンライン臨床実習 WG の活動で竹田津准教授(消化器内科)と柴田講師(腎臓内科)にインタビューを行った。

8月16日、全国的な記録的大雨の中(嬉野で4日間の降水量1,024 mm)、久留米市も大雨に見舞われ(762 mm)、NHK 報道室クルーが教育1号館の屋上で雨に濡れながら筑後川の様子を放映した(ロクいち!福岡)。安達が大学基準協会(JUAA)のオンライン会議に参加した。

8月17日、臨床研修センターの研修医会ミニレクチャー「放射線治療総論」(村木助教)に山田がアドバイザーとして参加した。

8月18日、柏木の原著論文「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)禍のオンライン授業とオープンソースの活用」が久留米医学会雑誌に受理された。福岡県の緊急事態宣言(8/20~9/12)に伴い、COVID-19 感染拡大防止のための取組みの徹底が教職員に通知された。

8月19日、山田が安陪教務委員長・大石教務課長とともに西日本地区公私立医科大学・医学部教務連絡協議会(当番:大阪医科薬科大学)に参加した(1大学1画面の遠隔会議)。

8月20日、医学教育分野別評価受審後の「年次報告書」(31ページ、根拠資料109点)が完成した(三役決済のあと JACME 送付)。柏木が経営企画室の「DX 推進会議」に出席した。大学病院の災害レベルがⅢ-A に引き上げられ、臨床実習(8/23~)はオンラインになった。

8月23日、第4学年の共用試験 CBT が実施され、柏木がサイトマネージャーを担当し、安達と山田がブロック監督者を分担した。安達が意見書「試験における学生トリアージ」を学生委員長と教務課長に提出した。安達の「イレウス」が『臨床透析』増刊号(透析患者の消化管疾患 A to Z)に掲載された(2012;37:1017-20)。

8月26日、遠隔授業や動画配信で活用している Vimeo(動画プラットフォーム)について柏木が機能拡充のためにプレミアムプランをカスタムプランにアップグレードした。安達

が JACME 年次報告書の「委員会/部会/部署別改善項目」を教育評価委員会に提出した。

8月27日、山田が PCCE 部会に自主学習ノートや学生評価の資料を提出して説明した。山田が日本脊椎脊髄病学会のモニタリング委員会に出席した (Zoom 会議)。

8月30日、PCCE 部会の「症例推論 POCD における協同学習活用のための基礎知識」(力丸講師)に山田がアドバイザーとして参加した。

8月31日、第4学年の臨床技能統括実習(8/24~9/14、トレセン 8/31~9/13)が始まり、片山がシミュレータ設置やブース設定を行った。総合医学 CBT-A/B 部会(野村教授)が開催され、安達・柏木・山田が学生支援の立場で試験の意義や追再試について意見を述べた。

*クリニカルスキル・トレーニングセンターで開催されたイベントは次のとおり。

8月2日~31日(月/火/木/金)、VR 内視鏡シミュレータトレーニング (外科医師)

8月4日、ナーシングスキル用動画撮影 (看護部)

8月4日、病棟学習会：呼吸器 (病棟看護師)

8月5日、CV カテ挿入トレーニング (救命医師)

8月6日、VR 内視鏡シミュレータトレーニング (消化器内科医師)

8月12日、病棟学習会：呼吸器 (病棟看護師)

8月19日、CV カテ挿入トレーニング (救命研修医)

8月20日、VR 内視鏡シミュレータトレーニング (消化器内科医師)

8月23日、多重課題研修 (病棟看護師)

8月24日、導尿実習 OJT (病棟看護師)

8月27日、CV カテ挿入トレーニング (救命研修医)

8月30日、多重課題研修 (病棟看護師)

8月31日(~9月13日)、臨床技能統括実習 (医学科4年生)

文責：安達洋祐